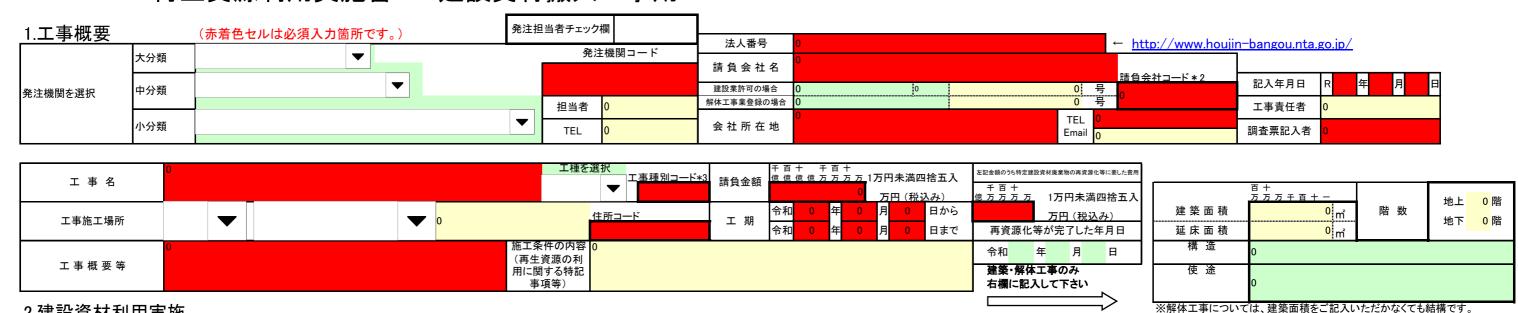
再生資源利用実施書 一建設資材搬入工事用ーー「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版一 様式1



2.建設資材利用実施

	建	設 資 🤊	材 (新材を含	む全体の利用	月状況)	左記のうち	る、再生資材の利用や	犬況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい)					再生資源
	分 類	小 分 類 コード*5	規格	主な利用用途 コード*6	利 用 量(A) 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量(B) 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	任所コード *4	利用率 B/A×100
	コンクリート				トン		トン						0 %
特定建設資材					トン		トン						0 %
		合	計		0.000 トン		0.000トン						0 %
	コンクリート及び鉄か ら成る建設資材				トン		トン						0 %
	5// 0/LD/5(1)				トン		トン						0 %
		合	計		0.000 トン		0.000トン						0 %
	木材				トン		トン						0 %
					トン		トン						0 %
		合	計		0.000 トン		0.000トン					:	0 %
	アスファルト ・コンクリート				トン		トン						0 %
			=1		トン		トン						0 %
		合	計		0.000トン		0.000トン						0 %
	土砂				締めm³		締めm³						0 %
			=1		締めm³		締めm ³						0 %
	77 7	合	計		0.000 締めm ³		0.000 締めm ³					.	0 %
7	砕 石				m ³		m ³						0 %
その		$\overline{}$	=1		m ³		m ³						0 %
他	15 11 1 ° = 11 55	合	計		0.000 m ³		0.000 m ³						0 %
の	塩化ビニル管・継手				トントン		トン						0 %
建	- 本土		計		0.000 トン		トン 0.000 トン						0 %
設	石膏ボード	百	ĒΤ		1.000 トン		0.000 トン						
貨料	石膏ホート				トン		トン						0 % 0 %
材		合	計				0.000トン						0 %
1	その他の		Αl		0.000 トン		0.000 トン						0 %
	建設資材				トン		トン						0 %
	建议具的	合	計		0.000トン		0.000トン						0 %
			ĒΙ		0.000 F J		0.000 F J						0 %

コンクリートについて			
1.生コン(バージン骨材)		2.再生生コン(Co再生情	骨材H)
3.再生生コン(Co再生骨材M)		4.再生生コン(Co再生情	骨材L)
5.再生生コン(その他再生材)		6.無筋コンクリート二次製品	品(バージン骨材)
7.無筋コンクリート二次製品(リユース品)		8.再生無筋コンクリートニク	マ製品(Co再生骨材)
9.再生無筋コンクリート二次製品(その	(他再生材)	10.その他	
コンクリート及び鉄から成る建設資材し	こついて		
1.有筋コンクリート二次製品(バージン骨	·材)	2.有筋コンクリート二次製品	品(リユース品)
3.再生有筋コンクリート二次製品(CoF	生骨材)	4.再生有筋コンクリートニク	収製品(その他再生材)
5.その他			
木材について			
1.木材(ボード類を除く)	2.木質ボード		
アスファルト・コンクリートについて			
1.粗粒度アスコン	2.密粒度アスコン	3.細粒度アスコン	
4.開粒度アスコン	5.改質アスコン	6.アスファルトモル	タル
7.加熱アスファルト安定処理路盤村	オ	8.その他	
土砂について			
1.第一種建設発生土	2.第二種建設発生土	3.第三種建設発生土	4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土	6.浚渫土	7.土質改良土	8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂	10.山砂、山土などの新	材(採取土、購入土)	
砕石について			
1.クラッシャーラン	2.粒度調整砕石	3.鉱さい 4.	.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石	6.その他		
塩化ビニル管・継手について			
1.硬質塩化ビニル管	2.その他		
石膏ボードについて			
1.石膏ボード	2.シージング石膏ボート	・ 3.強化石膏ボード	
4.化粧石膏ボード	5.石膏ラスボード	6.その他	
その他の建設資材について			
(利用量の多い上位2品目を具体)	的に記入して下さい)		
·	·	·	·

コード*6 アスファルト・コンクリートについて 1.再生生コン(Co再生骨材H) 1.表層 2.基層 2.再生生コン(Co再生骨材M) 1. 及盾 3.上層路盤 3.再生生コン(Co再生骨材L) 4.再生生コン(その他再生材) 5.その他(駐車場舗装、敷地内舗装等) 5.無筋コンパートニ次製品(リュース品) 6.再生無所 7.再生無筋コンパートニ次製品(その他再生材)8.その他 コンクリート及び鉄から成る建設資材について 6.再生無筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 土砂について 1.道路路体 2.路床 3.河川築堤 4.構造物等の裏込材、埋戻し用 1.有筋コンクリート二次製品(リユース品) 2.再生有筋コンクリート二次製品(Co再生骨材) 6.水面埋立用 3.再生有筋コンケリート二次製品(その他再生材)4.その他 5.宅地造成用 7.ほ場整備(農地整備) 木材について 1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ボード 8.その他 砕石について アスファルト・コンクリートについて . 2.再生密粒度アスコン 3.再生細粒度アスコン 5.再生改質アスコン 6.再生アスファルトモルタル 1.舗装の下層路盤材 1.再生粗粒度アスコン 2.舗装の上層路盤材 4.再生開粒度アスコン 5.再生改質アスコン 3.構造物の裏込材、基礎材 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 土砂について 4.その他 1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 5.浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設汚泥処理土 9.再生コンクリート砂 塩化ビニル管・継手について 1.水道(配水)用 2.下水道用 3.ケーブル用 4.農業用 5.設備用 6.その他 4.辰来用 石膏ボードについて 1.壁 2.天井 砕石について 3.その他 1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.鉱さい 4.その他 その他の建設資材について (利用用途を具体的に記入して下さい) 塩化ビニル管・継手について 1.再生硬質塩化ビニル管 その他の建設資材について (利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

<u>コード*8</u> 再生資材の供給元について 1.現場内利用 2.他の工事現場(内陸) 3.他の工事現場(海面) 4.再資源化施設 5.土砂ストックヤード

コード*9 施工条件について 1.再生材の利用の指示あり

4/4

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい 建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と 新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

2.建設副産物搬出実施

建設副産物		①発生量	①発生量 現場内利用·減量			或量	現場がして												
	の種類	・ルエエ	現 場 内 利 用		減 量 化			70 -93 71	J/IX III			搬出先		心油柜料 柳山 草	1		再生資源利用 促進率		
	場外搬出時 の性状	(掘削等) =②+③+④	用途 コード *10		うち現場内 改良分	減重 法 コート・	③減量化量	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	施工条件の 内容 コート・* 12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離	版山元 の種類 コート* *13	④現場外搬出量		⑤再生資源 利用促進量	<u>2+3+5</u> 1 (%)	
	コンクリート塊	小数点第三位まで	*10	小数点第三位まで	小数点第三位まで	* 11	小数点第三位まで	L 搬出先1							小数点第三位まで	小数点第三位まで			
	コンソリート堀	0.000 534		LS.	L.V.			搬出先2					km km		トン	トントン	0.000 534	0 %	
資材廃 棄物 特定建設	建設発生木材A	0.000 トン		トン	トン			搬出先1					km		トン	۲۷	0.000 トン	0 %	
廃建	(柱、ボードなど木製資材が廃棄物となっ	0.000 トン		トン	トン			搬出先2					km		トン		0.000 634	0 %	
業 物	たもの)	0.000 トン		トン	トン			搬出先1					km		トン	トン	0.000 トン	0 %	
	アスファルト・ コンクリート塊	0.000 トン		トン	トン			搬出先2 [km		トン	トン	0.000 トン	0 %	
		0.000 13		17	17			搬出先1					km		トン	12	0.000 12	0 70	
	その他がれき類	0.000 トン						搬出先2 [km		トン		0.000 トン	0 %	
	建設発生木材B	0.000 12						搬出先1					km		トン		0.000 12	0 70	
	(立木、除根材などが廃棄物となったもの)	0.000 トン		トン	トン			搬出先2					km		トン		0.000 トン	0 %	
		0.000 12		12	12			搬出先1					km		トン	トン	0.000 12	0 70	
	建設汚泥	0.000 トン		トン	トン		トン	搬出先2					km		トン	<u></u>	0.000 トン	0 %	
		0.000 12		, -				搬出先1					km		トン		0.000	0 //	
建	金属くず	0.000 トン						搬出先2					km		トン	ā	0.000 トン	0 %	
烓	廃塩化ビニル管・継							搬出先1					km		トン				
設	手	0.000 トン						搬出先2					km	ā	トン		0.000 トン	0 %	
	廃プラスチック							搬出先1					km		トン				
廃	(廃塩化ビニル管・継手を 除く)	0.000 トン						搬出先2		311111111111111111111111111111111111111			km	5	トン		0.000 トン	0 %	
棄	ウェン・ プログラン							搬出先1					km		トン				
	廃石膏ボード	0.000 トン						搬出先2					km	3	トン	ı	0.000 トン	0 %	
物	4π / + "							搬出先1					km		トン				
	紙くず	0.000 トン						搬出先2					km		トン	a	0.000 トン	0 %	
	アスヘ゛スト							搬出先1					km		トン				
	(飛散性)	0.000 トン						搬出先2					km		トン		0.000 トン	0 %	
	その他の分別							搬出先1					km		トン				
	された廃棄物	0.000 トン						搬出先2					km		トン		0.000 トン	0 %	
	混合状態の廃棄物							搬出先1					km		トン				
	(建設混合廃棄物)	0.000 トン						搬出先2					km		トン		0.000 トン	0 %	
	第一種							搬出先1					km		地山m ³	地山m³			
	建設発生土	0.000 地山m ³		地山m³	地山m³			搬出先2					km		地山m ³	地山m ³	0.000 地山m ³	0 %	
	第二種							搬出先1					km		地山m ³	地山m³			
建	建設発生土	0.000 地山m ³		地山m³	地山m³			搬出先2					km		地山m ³	地山m³	0.000 地山m ³	0 %	
設	第三種							搬出先1					km		地山m ³	地山m ³			
発	建設発生土	0.000 地山m ³		地山m³	地山m³			搬出先2					km		地山m ³		0.000 地山m ³	0 %	
生	第四種	_						搬出先1					km		地山m ³	地山m³	_		
±	建設発生土	0.000 地山m ³		地山m ³	地山m ³			搬出先2					km		地山m ³		0.000 地山m ³	0 %	
	浚渫土以外の泥土							搬出先1					km		地山m ³	地山m³			
		0.000 地山m ³		地山m³	地山m³			搬出先2					km		地山m ³		0.000 地山m ³	0 %	
	浚渫土							搬出先1					km		地山m ³	地山m³			
	(建設汚泥を除く)	0.000 地山m ³		地山m³	地山m³			搬出先2					km		地山m ³	地山m³	0.000 地山m ³	0 %	
	合 計	0.000 地山m³		0.000 地山m³	0.000 地山m³										0.000 地山m ³	0.000 地山m³	0.000 地山m ³	0 %	
	コード*10			コード*11			<u>1−ド*12</u>	<u>,</u>	*13 廃棄物の場合				Fat En acri	ID A T					
	1.路盤材 3.埋戻し材 4.その他	2.裏込材		1.焼却 3.天日乾燉 4.その他	2.脱水 桑	施	工条件につい 1.A指定処分	1 1.売	<u>廃棄物の場合</u> 記却 也の工事現場 に域認定制度に		8.廃棄物最終処分場 9.廃棄物最終処分場	(海面処分場)	【建設発生土の 1.売却 2.他の工事項		6.エ	事予定地・仮置場 再利用の目的が ^ス	易・ストックヤート゛		

注記) •

・ 一般廃棄物は記入しないで下さい。 ・ 土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

正工条件について 1.A指定処分 (発注時に指定されたもの) 2.B指定処分(もしくは準指定処分) (発注時には指定されていないが、 発注後に設計変更し指定処分とされたもの)

2.他の工事現場 9.廃業物最終 3.広域認定制度による処理 4.中間処理施設(アスファルト合材プラント) 5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設) 6.中間処理施設(サーマルリサイクル) 7.中間処理施設(単純焼却)

1.売却 6.工事予定 2.他の工事現場(内陸) (再利用 3.他の工事現場(内陸) 7.採石場・ただし、廃棄物最終処分場を除く 8.廃棄物局 4.土質改良プラント 9.廃棄物局 5.工事予定地・仮置場・ストックヤート (再利用の目的がある場合) ※ 6.9.10〜搬出した場合は、有効利用とみなされません。

6.工事予定地・仮置場・ストックヤード (再利用の目的がない場合) 7.採石場・砂利採取跡地等復旧事業 8.廃棄物最終処分場(覆土としての受入) 9.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入) 10.土捨場・残土処分場

計画書(建リ法11条通知対応)は1/4,2/4頁目に記入、実施書(建リ法18条報告、)は3/4,4/4頁目に記入 表面 工事概要は1/4頁目の 計画書に記入したものが 再生資源利用実施書 一建設資材搬入工事用一 「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第18条再資源化報告」対応版一 3/4頁目に反映されます。 元請業者が法人の場合、「法人番号公表サイト」で検索し法人番号を記入 発注機関の選択間違いに注意 発注担当者チェック機 1.工事概要 法人番号 0123456789012 http://www.houjin-bangou.nta.go.jp/ 発注機関コード 国土交通省 大分類 (株)○△建設 洁自会社名 834700 記入年月日 R 1 年 11 月 22 日 関東地方整備局 • 発注機関を選 012345 号 使素業計可の場合 00:国土交通大臣 86000その他の加盟団体 中分類 号 又は団体に属さない 解体工事業者料の配合 建設太郎 担当者 工事責任者 副產物太郎 埼玉県さいたま市中央区〇〇〇〇 大宮国道事務所 TH. Оуу-ууу-ууу -小分類 会社而在地 TEL 0xx-xxx-xxx Email abc@OO.OO 建築・解体工事の場合は記入。 万円単位 ▶ただし、解体工事については建築面積を記入しなくても可。 OOO道路舗装修繕工事 于 百 十 于 百 十 债 债 债 债 万 万 万 万 1 万円未送四烩五 入 た記念師のうちは記憶を登ける意物の異度調化等に思した意思 「重新別コード* 工事名 請負金額 改良 (道路 ▼ B-1 10000 万四 (彩込み) 1万円未満四拾五人 0 階 地上 年 7 月 15 日から 100 建築面積 0 mi 住所コード 万円 (税込み) 工事施工場所 埼玉県 さいたま市 中央区 地下 0階 \mathbf{v} 工期 延床面積 11105 年 11 月 18 日まで 再資源化等が完了した年月日 構造 令和 1 年 11 月 8 日 (再生質激の利用 丁事趣要等 **建築・保仏工事のみ** 体 徐 に関する特記事項 着工年月日く竣工年月日 等) 右側に記入して下さい ※解体工事については、建築面積をご記入いただかなくても結構です。 単位と選択間違いに注意 2.建設資材利用実施 建 設 資 材 (新材を含む全体の利用状況) 左記のうち、再生資材の利用状況 (再生資材を利用した場合に記入して下さい) 再生資源 再生資材の名称 | 再生資材利用量(B) 利 用 量(A) 小数点第三位まで 小分類 主な利用用途 担 柊 利用率 再生資材の供給元施設、工事等の名称 再生資材の供給元場所住所 任力一ト 種類 B/A×100 コンクリート 1.生コン(新) 普通21-8-20 トン 100 エクセル印刷範囲 2.再□(H) 5.000 トン .再コ(H) 5.000トン 〇レミコン(株)××工場 指示あり 埼玉県さいたま市緑区〇〇1-1-1 11109 17.000 トン 5.000トン 승 하 29 外にある住所コード コングリート及 トン トン 検索機能で検索し、 び鉄から成る トン トン 建設資材 →転記。転記間違い 現場内利用があった場合は、次頁の 合 計 0.000トン 0.000トン 木材 2.建設副産物搬出実施にも必ず記入 のに注意 設 トン トン トン トン 0 96 合 計 0.000トン 0.000トン 0 1.指示あり 埼玉県さいたま市浦和区〇〇2-2-2 アスファルト 1 粗粒 20.000 トン 再粗料 20.000トン ○○首路(株)××工場 11107 100 ・コングリート 2.密粒 10000 F > 再密粒 10.000 F > つの道路(株)××工場 4.再資源 1.指示あり 埼玉県さいたま市浦和区〇〇2-2-2 11107 100 合 計 30.000 ► ン 30.000 トン 100 養産物等の表込材、短期に用 16.000 **締めm**³ 16.000 **締めm**³)〇〇〇首路舗装修繕工事 お示ありはま見さいたま市中央区〇〇3-3-3-3 11105 100 0 締めm 締めっこ 16.000 **\$\$30m**3 16.000 **締めm**³ 合 計 100 % 砕石 1.クラ 20.000 m³ .再クラ 20.000 m³ 〇〇〇〇道路舗装修繕工事 1.指示あり 埼玉県さいたま市中央区〇〇3-3-3 100 695.000 m³ 2 雑誌の上層路盤お 695.000 m³ 4.再資源 1.指示あり 埼玉県川口区〇〇4-4-4 2粒調 .再粉調 ○○道路(株)□□工場 11203 100 Ø 715.000 m³ 715.000 m 合 計 100 % 塩化ビニル管 トン 0 മ **・維**手 建 品目毎の供給元施設、工事等が 合 計 0 9 ر: 設資 3箇所以上ある場合は、シート2枚目 石膏ボート 0 9 以降を利用してください。 0 9 トン 合 計 0 % 0.000 トン 0.000 F > その他の トン トン 建設資材 0 0.000トン コード*5 ロンクリートについて コード*6 アスファルト・コンクリートについて コード*7 |コンクリートについて 再生資材の供給元について 1生コン(バージン骨材) 3.再生生コン(Co再生骨材M) 1現場内利用 2他の工事現場(内陸) 3他の工事現場(海面) 1.再生材の利用の指示あり 2.再生生コン(Co再生骨材H) 1.再生生コン(Co再生骨材H) 1.表層 2.基層 2.再生生コン(Co再生骨材M) 4.再生生コン(Co再生骨材L) 6.無筋コンリート二次製品(パージン骨材) 3上層路響 4 歩道 3.再生生コン(Co再生骨材L) 5.無筋ンタリート二次製品(リュース品) 2再生材の利用の指示なし 4再生生コン(その他再生材) 5再生生コン(その他再生材) 5その他(駐車場舗装、敷地内舗装等) 6.再生無筋エングリート二次製品(Co再生骨材) 砂について 1道路路体 2路床 3河 4構造物等の裏込材、埋戻し用 8.再生無筋エクリート 次製品(Co再生骨材) /- 再生無筋ンツート

- 次製品(その他再生材)
コンクリート及び鉄から成る建設資材について 4.再管液化施設 2路床 3河川築堤 5上砂ストックヤード 1.有筋エンリート二次製品(リュース品) 2.再生有 3.再生有筋エンリート二次製品(その他再生材) 4.その他 2.再生有筋工/リート二次製品(Co再生骨材) 6.その他 1.有筋エクリー二次製品(パージン骨材) 6.水面埋立用 2.有筋ングリーニ次製品(リュース品) 5.宅地造成用 3再生有筋エンツート二次製品(Co再生骨材) 4.再生有筋エケリーニ次製品(その他再生材) 7.ほ場整備(農地整備) 木材について 5.その他 8その他 1.再生木材(ボード類を除く) 2.再生木質ポード 材について 砕石について アスファルト・コンクリートについて 1.再生和特度アスコン 1.舗装の下層路盤材 2.舗装の上層路盤材 3.構造物の裏込材、基礎材 1.木材(ボード類を除く) 2.木質ボード 2再生密特度アスコン 3.再生細粒度アスコン アスファルト・コンクリートについて 4.再生開粒度アスコン 6.再生アスファルトモルタル 5再生改賞アスコン 2密特度アスコン 7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材 1.粗粒度アスコン 3.細粒度アスコン 4 開粒度アスコン 5.改質アスコン 6アスファルトモルタル 4.その他 土砂について 塩化ビニル管・継手について 1水道(配水)用 2下水道用 3ケーブル用 7加熱アスファルト安定処理路盤材 1.第一種建設発生土 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 上砂について 4 第四種建設発生土 5 浚渫土以外の泥土 6.浚渫土 1億一蘇建設条件十 2.第二種建設発生土 3.第三種建設発生土 4.第四種建設発生土 6.浚渫土 7.土質改良土 8.建設污泥処理土 5設備用 6その他 7.土質改良土 9.再生コンクリートす 4.農業用 8.建設汚泥処理土 石膏ボードについて 5歳漢土以外の泥土 砕石について 9再生コンクリートサ 10山砂、山土などの新材(採取土、購入土) 2.天井 3.その他 1.再生クラッシャーラン 2.再生粒度調整砕石 3.篇さい 4.その他 その他の建設資材について 砕石について 塩化ビニル管・継手について (利用用途を具体的に記入して下さい) 1クラッシャーラン 2.粒度調整砕石 3鉱さい 4.単粒度砕石 1.再生硬質塩化ビニル管 5ぐり石、割ぐり石、自然石 6.その他 塩化ビニル管・継手について その他の建設資材について

1硬質塩化ビニル管 2その他

2シージング石膏ボード

5.石膏ラスポード

(利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい)

3強化石膏ボード

石膏ボードについて

4.化粧石膏ボード

その他の建設資材について

※行が複数有り、1ページ目に収まらない場合は。シート2枚目以降を利用してください。

(利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい)

様式2 再生資源利用促進実施書 一建設副産物搬出工事用一

解体と新築工事を一体的に施工する場合は、搬出工事用は

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と 新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

1.工事概要 表面(様式1)に必ずご記入下さい

2.建設副産物搬出実施

単位間違いに注音

_											平区(1)	違いに注意	A						
	設副産物 の 種 類	①発生量	-		!場内利用・源	_		現 場 外 搬 出 に つ い て 📕											
				現場内利用		減量化		搬出先名称			搬出先場所住所	·····	1	搬出先	④現場外搬出量		Ţ	- 促進率	
	場外搬出時	(掘削等)	用途	②利用量	うち現場内	減量法	③減量化量	2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に		施工条件の	### DE 2011 E111	住所コード	運搬距離	の種類 コート・	j55		⑤再生資源		
	の性状	=2+3+4	コート		改良分	□- ŀ *	O	わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分	内容 コート** 12	•	*4	千百十一	*13			利用促進量	1 (%)	
-	_> 611 146	小数点第三位まで	*10	小数点第三位まで	小数点第三位まで	*11	小数点第三位まで	Maria - 00111 (511 (15) 00 7 18	288	4 4 2	₩ . # 7 # 1 # 2 # 3 # 4 # 4 # 4 # 4 # 4 # 4 # 4 # 4 # 4	41010		5.中合外		第三位まで			
1	コンクリート塊	112.000	1.路盤材	40.000				搬出先1 〇〇リサイクル(株)〇〇工場	民間		埼玉県上尾市1-1-1	11219	10 km	5.中音外	72.000 トン	<u></u>	72.000	100	
資材	70 50 50 41 44 44	F2	1	トン	トン			搬出先2	C 88		4 T 18 111 + 4 + 0 0 0	11001	km	5 th A M	h>	トン	F2	%	
廃理	建設発生木材A (柱、ボードなど木製資材が	10.000						搬出先1 〇〇(株)チップ化工場	民間	ļ	埼玉県川越市2-2-2	11201	15 km	5.中合外	8.000トン		8.000	80	
棄設	廃棄物となったもの)	F2	1	トン	トン			搬出先2 (株)〇〇 中間処理施設	民間		埼玉県さいたま市中央区1-1-1	11105	5 km	7.焼却	―選択間違いに注意		N2	%	
190	アスファ ルト・ コン クリート塊	302.000						搬出先1 〇〇道路(株)××工場	民間		埼玉県さいたま市浦和区3-3-3	11107	15 km	4.中合材	302.000 トン	トン	302.000	100	
-	-2 7 7 196	F2	1	トン	トン			搬出先2	C 88			11107	km	9.内陸処分	トン	トン	N2	%	
	その他がれき類	1.000						搬出先1 □□処分場 搬出先2	民間		埼玉県さいたま市浦和区3-3-3		15 km	9.1勺座郊历	1.000 トン トン		0.000	0 00	
	建設発生木材B	L-						搬出先1 〇〇(株)チップ化工場	民間			11201	km 15 km	5.中合外	2,000トン		r-	90	
	(立木、除根材などが廃棄物	2.000		15	13.				区间		ル印刷範囲外にあ	11201		3.中日7	2.000 トン トン		2.000	100	
	となったもの)	Γ-	1	トン	トン			搬出先2	民間	1	fコード検索機能で	10100	km	5.中合外	(11111111111111111111111111111111111111		<u> </u>	9/0	
	建設汚泥	300.000		h'z			- 15	搬出先1 △△(株)	氏间		、転記。転記間違 🚻	13123	40 km	5.中日介	300.000 トン	トン	300.000	100	
		1	4	(-)	トン		トン	搬出先2	C 88	―いに注	主意 。	11107	km	4 = +0	トン	トン	F2	%	
1.	金属くず	27.000						搬出先1 〇〇金属株	民間	※現均	腸内利用の場合は、 ^{33−3}	11107	13 km	1.売却	27.000トン		27.000	100	
建	±15 // . * -	F2	1					搬出先2	C 88	一工事	施工場所コードと	11010	km	5.中合外	トン		N2	%	
設	廃塩化ビニ ル管・継手	1.200			3			搬出先1 OOリサイクルセンター	民間	あって	いるか確認	11219	15 km	5.中古外	1.200 トン		1.200	100	
nx.	ル目 MAT	F2	4					搬出先2	C 88		478184	11010	km	5.中合外	トン		N2	%	
廃	(廃塩化ビニル	1.800						搬出先1 OOリサイクルセンター	民間	ļ	埼玉県上尾市4-4-4	11219	15 km	5.中音外	1.800 トン		1.800	100	
١.	管・継手を除く)	152	_					搬出先2		-			km		トン トン		N2	%	
棄	廃石膏ボード				た場合は、		カ	搬出先1		 			km	•	h>		0.000	0 0	
物		2.	建設資	材利用実	施にも必ず	が記入		搬出先2		-			km		トン		N2	%	
193	紙くず	0.000						搬出先1	0050	, 16几山 开:	l 施設、工事等が		km		lν lν		0.000	0 0	
		F2	1					搬出先2					km	_	トン (i)		r-	90	
	アスヘ [*] スト (飛散性)	0.000	<u>ک</u>					搬出先1			合は、シート2枚目		km				0.000	0 00	
		22						搬出先2 搬出先1	以降を利	用してく	たさい。		km		F2 F2		r-	90	
	その他の分別された廃棄物	0.000						***************************************					km		()()()()()()()()		0.000	0 00	
	混合状態の廃棄物	1	1					搬出先2					km	_	トン トン		r-	90	
	(建設混合廃棄物)	0.000						搬出先1				-	km km		رم را		0.000	0 00	
-	第一種	Γ,		20.000				搬出先1:■■■■工事	公共	A指定処分	東京都港区〇〇1-1-1	13103	33 km	2.他工(陸)	300000000000000000000000000000000000000	3	r-	90	
		2,020,000	1.路盤材					***************************************	公共 民間	A指定処分			***********		1,300.000 地山m³	地山m³	2000000	100	
	建設発生土	地山m	1	地山m³	地山m³			搬出先2 ☆☆☆☆工事	氏间	A相足处力	東京都足立区〇〇2-2-2	13121	28 km	2.16工(座)	700.000 地山m³	地山m³	地山m	90	
7-9-	第二種	0.000	3	10h.1. 3	3 116.1. 3			搬出先1					km		地山m ³	地山m ³	0.000	0 0	
建設	建設発生土 第 三 種	地山m	1	地山m³	地山m³			搬出先2 搬出先1 ★★★★工事	公共	A指定処分	東京都港区××2-2-2	13103	32 km	2.他工(陸)	地山m³ 603.000 地山m³	地山m³ 地山m³	地山m	%	
	弗 二 性 建設発生土	1,025,000	3	Ashili 3	3 44h.1. 3			搬出先2:〇〇〇〇受入場	公共 民間	J	東京都港区××2−2−2 埼玉県桶川市○○3−3−3	11231	20 km	10.土捨場	603.000 地山m 422.000 地山m ³	地山m ³	603.000	59 04	
発生	第四種	地山m	1	地山m³	地山m³			搬出先1	戊间	八日足足刀	均玉示備川印〇〇3~3~3	11231	ZU KM	- 0. 土口百一物			地山m	%	
±	男 四 性 建設発生土	0.000	3	地山m ³	3 44h.1. 3			搬出先2	-						地山m³	地山m³	0.000	0 04	
1 -	廷設光土工	地山m	1	地Шm	³ 地山m³								km km		地山m³ 地山m³	地山m³	地山m	90	
1	浚渫土以外の泥土	0.000	3	Ashili 3	3 44h.l. 3			搬出先1 搬出先2								地山m³	0.000	0 04	
1	浚渫土	地山m	1	地山m ³	³ 地山m ³			搬出先2	1				km km		地山m³ 地山m³	地山m ³ 地山m ³	地山m	%	
1	(建設汚泥を除く)	0.000 地山m	3	地山m ³	地山m³			搬出先1:	<u> </u>	 		·	km		地山m³	地山m ³	0.000 地山m	0 %	
1		лещт	-	型山M 20.000	•			DIX E					KIII		лешт	ъвщm	лещт	90	
	合 計	3,045,000	3	20.000	•									*	3,025.000 地山m³ 0.000	14h . I .	²⁰⁰¹⁰⁰⁰ 地山m	86	
Ь.	コード*10	地山m		F*11	к лещm [°]		ード*12		::::::::::::::::::::::::::::::::::::::							TE ITIM	型Щm	%	
	1.路盤木	オ 2.裏込材		1.焼却	2.脱水	一 施	・工条件につい	【建設	と廃棄物の場合)				【建設発生土の	場合。	離は整数入力				
	3.埋戻L	材		3.天日乾燥			1.A指定処分		売却 ルのエ専用場		8.廃棄物最終処分場()		1.売却		6.工事予定地				
	4.その作	ц		4.その他					也の工事現場 広域認定制度に	よる処理	9.廃棄物最終処分場()	7四处分场)	2.他の工事項3.他の工事項					ž	
注記							(発注時に	は指定されていないが、 4.5	中間処理施設(フ	アスファルト1			ただし、廃	棄物最終	冬処分場を除く 8.廃棄物最終	処分場(覆土としての	受入)	
		は記入しないでT 後法に基づき処理		棄(十記 えし ナシ!	バアナル		発注後に記 3 白由机分		中間処理施設(f 中間処理施設(f		以外の再資源化施設)		4.土質改良フ 5.工事予定均		9.廃棄物最終 - ストックヤート 10.土捨場・歿			差人)	
•	工物/7末州月	トムに坐 ノこだり	エュのエィ	女(の日)人しなり	C 1.C0 %	<u> </u>	v.ㅁ때ze/i				17101		(再利用の)目的が	ある場合)	ᇵᆂᄰᄭᄻ	e)		
	7.中間処理施設(単純焼却)																		